

日本天文学会2018年春季年会のお知らせ

2018年春季年会は、2018年3月14日(水)から3月17日(土)までの4日間、千葉大学西千葉キャンパス(千葉県千葉市)にて開催します。

(1)年会参加費, 講演登録費, および年会予稿集代について

2011年秋季年会より, 講演登録費は, 講演申込時にお支払いいただくことになっております。
2016年秋季年会より, 通常セッションにおける講演は会員に限られております。

・料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	3,000 円(不課税)	5,000 円(消費税込み)	講演ありの場合, 参加費は無料
講演登録費	3,000 円(不課税)	10,000 円(消費税込み・ 企画セッション)	(1講演につき)
講演予稿集	2,000 円(消費税込み)	2,000 円(消費税込み)	

※講演申込をされた方は, 以下に記す支払期間内に必ず料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は, 会員4,000円(不課税), 非会員11,000円(消費税込み・企画セッション)の講演登録費をお支払いください。

※講演なしで参加のみの場合は, 従来どおり, 当日年会受付にて参加費を現金でお支払いください。

※クレジットカード会社, 金融機関の利用明細をもって, 本学会の領収書とさせていただきます。

※当日年会受付でお渡しする名札で, 年会の参加証明といたします。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会 員 : 講演登録費 3,000円 (1講演につき)

非会員 : 講演登録費 10,000円 (企画セッション) (1講演につき)

※講演予稿集は, 予約され, 会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は, 年会当日現金で購入するか, 上記金額に2,000円を足してお支払いください。原則年会会場でお渡しします。

※お支払いいただいた講演登録費は, 原則として返金いたしません。

・支払期間

2017年11月28日(火)～ 12月12日(火)

・支払方法

●原則クレジットカード支払です。

<http://www.asj.or.jp/credit/2018a/> より決済の手続きをしてください。

(取り扱いカードは, VISA, MasterCard, JCB の3種類です。)

支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス(アナザーレーン)を利用しております。

※クレジットカード支払が困難な方は, 支払期間内に銀行振込, 現金書留, 学会事務所へ現金持参でお支払いください。

●銀行振込

銀行名:三菱東京UFJ銀行

支店名:三鷹支店

口座番号:普通4434400

口座名義:シャダンホウジンニホンテンモンガクカイ

※振込人の名前の前に, 会員番号(入会申請中の方は入会申請受付番号)をお書きください。

(2)受付期間

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。非会員の方は、講演申込の前に学会への入会申請をする必要があります。詳しくは年会ホームページをご参照ください。

事 項	受付期間・期限(日本標準時)	関連項目
講演申込(電子メール)	2017年11月28日(火) 正午～12月 5日(火) 正午	(3), (4), (5)参照
講演登録費支払期間	2017年11月28日(火) ～12月12日(火)	(1) 参照
複数講演の順序指定	2017年12月12日(火) 正午まで	(6) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2018年 2月27日(火) 正午まで	(7) 参照
最新情報コーナー	2018年 3月 6日(火) 正午まで	(8) 参照
講演の変更など	わかった時点で直ちにご連絡ください	(9) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2017年11月28日(火) 正午まで	(10)参照
正会員用展示ブース	2017年11月28日(火) 正午まで	(11)参照
旅費一部補助	2017年12月 5日(火) 必着	(12)参照
各種の会合申込	2017年12月12日(火) 正午まで	(13)参照
保育室の利用申込	2018年 2月13日(火) 正午まで	(14)参照
懇親会の申込	2018年 2月21日(水) まで	(15)参照

(3)分野と「企画セッション」

・講演分野は次の19分野です。

K.超新星爆発, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P1.星・惑星形成(星形成), P2.星・惑星形成(原始惑星系円盤), P3.星・惑星形成(系外惑星), Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V1.観測機器(電波), V2.観測機器(光赤外線・その他), V3.観測機器(X線・ γ 線), W1.コンパクト天体(BH・NS), W2.コンパクト天体(WD・GRB・その他), X.銀河形成, Y.天文教育・その他

・「企画セッション」は次の2件です。○印は世話人代表者です。

Z1.「すばる超広視野多天体分光器PFSは何を明らかにするのか？」(略称:すばるPFS)

世話人:千葉征司(東北大学), 岩田生(国立天文台), 村山斉(東京大学カブリIPMU),
長尾透(愛媛大学), ○高田昌広(東京大学カブリIPMU), 田中賢幸(国立天文台),
田村直之(東京大学カブリIPMU)

Z2.「マゼラン雲で探る星・星間物質の進化」(略称:マゼラン雲)

世話人:○大西利和(大阪府立大学), 金田英宏(名古屋大学), 羽部朝男(北海道大学),
西合一矢(国立天文台), 西村優里(東大天文センター)

・企画セッションは、世話人から依頼される講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込みを行います。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、講演申込みに際しては世話人からの指示に従ってください。なお、講演登録費をお支払いの際には、世話人が全ての講演を投稿した後に、世話人から届く受付番号が必要となります。

(4) 講演の形式

- (a)口頭講演(9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表); (c)ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。
- 講演者1人あたり可能な講演数は最大3件です。また、(a)講演は1人1講演までで、3件目の講演は(c)講演(ポスターのみ)に限ります。
- 口頭発表用に 프로젝タを用意します。 프로젝タに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は縦180cm, 横90cmです。)

(5) 講演の申込方法(電子メール)

- 年会の Web ページに掲載します。

※郵送による申込は、2016 年秋季年会をもって廃止となりました。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i)十分な背景説明を行うこと、(ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2018年2月20日付で発行する予定です。年会の web ページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあります。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際などは、十分ご注意願います。

※講演者は必ずしも筆頭著者でなくても結構です。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

(6) 複数講演の順序指定

- グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号(分野、発表形式を含む番号), 2. 講演者名

- (b)講演は3件一括りが原則です。3件に満たない場合は、最初か最後に並べてください。また、ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(7) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDL は、緊急性・トピックス性に富んだ内容について、通常の講演申込の〆切後にも講演を受け付ける制度です。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由(個人・グループの事情は不可)が必要です。
- 申請される場合は上記の理由を明記の上、年会実行委員会までお問い合わせください。申請頂いた内容は年会実行委員会で審査し、受理の可否を判断いたします。なお、通常の申込よりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- PDL の講演方法は、原則(c)ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)になります。ただし、プログラムに余裕がある場合は(b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)も可能ですので、希望される場合はご連絡ください。
- PDL の受付期間を過ぎた後の申請については、年会実行委員会にご相談ください。

(8)最新情報コーナー

- ・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。
- ・掲示を希望する場合は、掲示内容の概要と掲示者の情報を年会実行委員会に事前に申請してください。
- ・スペースが無くなれば受け付けを終了することがあります。

(9)講演のキャンセルや変更

- ・申し込んだ講演については、年会実行委員会の承認なくキャンセルすることはもちろん、講演者、講演題名、講演著者、講演内容も変更することはできません。
- ・やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更したりする場合は、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更する理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。なお代理講演者は原則学会員とします。
- ・講演申込後に講演をキャンセル等しても、講演登録費の返金はありません。
- ・講演の申込時に、主著者と講演者を別にすることはできます。主著者は「予稿集」の講演者リストの先頭に記され、申込時の講演者は「年会プログラム」で確認することができます。

(10)特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会にご相談ください。

(11)正会員用展示ブース

- ・正会員用の展示ブースのスペースを設けます。展示を希望される場合は、ブース名・趣旨・世話人(正会員3名以上)を記載して、期日までに年会実行委員会までお申してください。面積は1区画2×2m～3×3m(開催地の事情により異なる)、参加費は50,000円となります。2018年春季年会では、申込みが多数の場合、申込をお断りする可能性があります。

(12)旅費一部補助

- ・日本天文学会では、正会員(学生)に年会出席旅費(交通費)の一部補助を行っております。希望者は、年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> をご覧ください。

(13)年会時の各種会合

- ・会合などのために講演会場などを使用したい場合には、年会のWebページ<http://www.asj.or.jp/nenkai/>よりお申してください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限ります。(午後からセッションの始まる日の昼休みは会合は開けません)
- ・申込が多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・会合申込の受付期間を過ぎた後の申請については、年会実行委員会にご相談ください。

(14)年会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載します。不明な点は年会実行委員(保育室担当)へ e-mail(hoiku2018@nenkai.asj.or.jp)でお問い合わせください。

(15) 懇親会

- ・懇親会は、年会 3 日目にあたる 2018 年 3 月 16 日(金)夜に、千葉大学生協フードコート(大学会館2階)にて開催予定です。口頭発表が行われる会場から徒歩 3 分の場所です。
- ・会費は事前予約された場合は日本天文学会員・非会員共に、一般 5,000 円、学生 3,000 円。当日、または年会開催中に申し込まれた場合は、一般 6,000 円、学生 3,500 円の予定です。事前予約、当日予約どちらの場合も会費は、年会会場の受付にて現金でお支払いください。
- ・申込は、後日 tennet でもお知らせする Web サイト: <http://www.icehap.chiba-u.jp/activity/ASJ2018/>からお願いします。締め切りは、2018 年 2 月 21 日(水)までとさせていただきます。申込後、受付確認メールをお送りしますので、申込から数日しても確認メールが届かない場合は開催地組織委員会までご連絡ください。
- ・懇親会の開催準備のため、参加を希望される方は、できるだけ会期前申込をご利用ください。年会開催期間中の当日券の販売は、若干数しかご用意できません。また、事前に会場の定員を超えた場合は、当日券の販売はいたしません。ご了承ください。
- ・懇親会の申込後のキャンセルについては、2018 年 3 月 1 日(木)までに開催地組織委員会までご連絡下さい。これ以降のキャンセルはご遠慮下さい。

(16) 連絡先

◆年会実行委員会 e-mail: committee2018@nenkai.asj.or.jp

委員長 寺田幸功(年会実行理事・埼玉大学)
電話: 048-858-3365 FAX: 048-858-3365

年会係 佐藤良信・田口谷怜奈(日本天文学会)
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 花輪知幸(千葉大学)
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 千葉大学 先進科学センター
e-mail: jas18@ML.chiba-u.jp 電話: 043-290-3525 FAX: 043-290-3523

年会開催期間(2018年3月14日～17日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。
年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

寺田幸功 (年会実行委員長)